

第 2 回広島市食品ロス削減推進部会で出された主な意見と対応（案）

主な意見等	部会で示した食品ロス削減推進計画素案の記載等	素案の修正等
【西村委員】 ○10 頁の国の目標について、年度が西暦で記載されているが、他の記載は元号での記載となっており、統一されておらず分かりづらい。	・消費者庁の作成資料を紹介しているものであり、この資料中では西暦表記がなされている。	・国の目標を紹介した部分については、消費者庁が作成した資料であるため修正を行わず、「(2)目標の考え方」において、西暦と元号を併記する。
【原田委員】 ○1 頁の計画策定の趣旨の 5 行目について、「食品ロスの削減は、食品の生産等に関わる資源等の無駄な使用の抑制」と書いてあり、まさしくその通りであるが、それに付け加えて、食品を生産する関係者の労力も全て無駄になっているため、そういった文言も入れていただく必要があるのではないかと。 ○なぜならば、新型コロナウイルス感染症の影響が色濃く出始めた 2020 年頃に主に食品関連事業者の非正規の人などから、首を切られた、収入が減ったなどの声が出始め、フードバンクに食料の支援を求められたということがあった。多くは非正規雇用の女性であり、そういったことも加味して、生産、物流等に携わる汗や努力なども無駄になるという文言を入れていただきたい。	(1) 計画策定の趣旨 食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことで、(中略)また、食品ロスの削減は、食品の生産等に関わる<u>資源等の無駄な使用の</u> <u>抑制、廃棄物処理に関する経費の軽減等につながることから</u>も重要な取組<u>です。</u>	(1) 計画策定の趣旨 食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことで、(中略)また、食品ロスの削減は、食品の生産等に関わる<u>効率的な物的・人的資源の活用や食品ロスの処理に伴う C O₂ などの温室効果ガスの排出抑制、廃棄物処理に関する経費の軽減等につながることから、非常に重要な取組となります。</u>
【佐々木委員】 ○計画策定の趣旨や 10 頁のスローガンに関して、食品ロスを減らすというのは道徳的な観点から行うものとなっているが、そのような形になると人それぞれの良心に頼るものだと思うので、デメリットやメリットに着目して、コストの問題、CO₂ の排出など、食品ロスにはこういったデメリットがあり、食品ロスを削減することでこういったメリットがあるという書き方をするという手もあるのではないかと。		

